



## 新年のご挨拶

理事長 澤野親司

館長 桑谷哲男

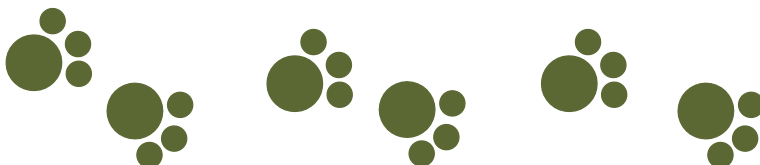
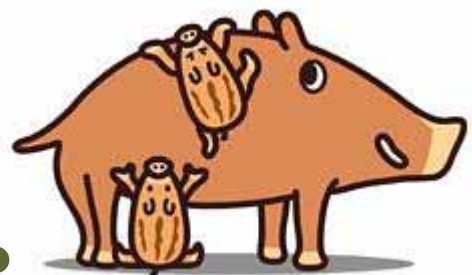


新年明けましておめでとうございます。新春を迎え、今年が良き年でありますことを祈念しご挨拶申し上げます。昨年は、会員の皆さんは固より、可児市文化芸術振興財団の皆

様をはじめ、ala クルーズにご支援いただいております皆様のご理解とご協力を賜りありがとうございます。おかげをもちまして大きな問題や事故もなく活動が順調に推移できましたことに深く感謝申し上げます。今年は、可児市文化創造センターが開館して5年の節目を迎える年となります。ala クルーズにとっても、これまでの運営や活動などについて振り返り検証すると共に、設立当初の目的や理念に立ち返り、今後の方向性などについて検討する大切な時期になると思います。「楽しくて、やりがいのある活動とは…」は、ボランティアの本質であり課題ですが、これは一朝一夕にはできないもどかしさもあります。実現させるためには、会員一人ひとりの活動意欲や協力がなくては成し得ない事で、当然のことながら誰かが与えてくれるものでなく、自らが進み掴み取るしかないと考えます。従いまして、昨年にも増しなお一層のご尽力お願いすると共に、ala クルーズが飛躍を遂げる年になることを願います。今年も皆でワイワイと楽しく頑張りましょう！！

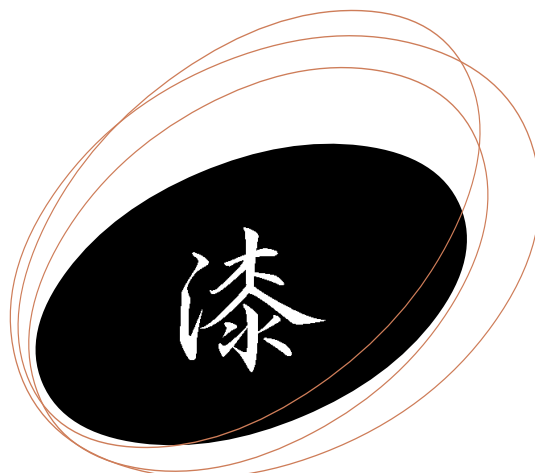
あけましておめでとうございます。

ala クルーズの皆様には、ご家族そろって新しい年を迎えられたことと思います。アールもオープン以来皆様とともに歩み続けてまいりました。日頃からのご協力に対し、心から厚く感謝申し上げます。特に本年はオープン5周年を迎える年となり、これまでの積み重ねのひとつの区切りとして、また、さらに市民の皆様喜んでいただける運営をしていけるよう、すでに活動をはじめているところです。世の中ではいじめや格差の問題など子どもから大人まで心の痛むニュースで溢れています。だからこそ私も「家族」や「笑い」をテーマとした企画を考えるとともに、今後も文化芸術が可児市のまちづくりに本当に大切なものであることを信じて歩んでいきたいと思えます。皆様も理想と夢を持って新年の第一歩を踏み出され、新しい年が皆様とアールにとって幸せで楽しい年となることをお祈りいたします。



## 第7回 ギャラリー展示

# 心に響くものたち



12月6日より11日までギャラリーで「心にひびくものたち VII『漆』展」が開催されました。alaクルーズ設立以来、シリーズで開催されてきた「心にひびくものたち」展は国内外の貴重な作品を展示することで多くの市民の方々に注目されるようになってきています。ケーブルテレビ可児をはじめ各メディアが取材に訪れるようになったのもその現われでしょう。今回は第7回目で「漆」をテーマに内外の作品約60点余を展示しました。漆、漆器は日本の代表的な工芸品です。しかし、日本独自のもの

のではなく中国や東南アジアでも各地で漆が使われた痕跡が残っています。また歴史も古く、紀元前2000年頃の縄文土器に塗られた漆も発見されています。漆器は素材にウルシの木の樹液を塗り重ねていきます。素材は紙、竹なども多いですが主に木材が用いられ、木材の場合「木地」と呼ばれます。木地職人によって作られたお盆、碗、箱物などに何回も何回も繰返し漆を塗っていきます。展示ではこのような歴史、地域性が分かりやすく並べられていました。また9日には現代漆工芸家の第一人者である佐藤阡朗氏の講演会が開催されました。氏は1942年青森県で生まれ、現在は長野県塩尻市で活躍、全国各地で漆工芸展などを開催されています。講演は修行時代の思い出から漆器の鑑賞の仕方まで多岐に渡り、ユーモアを交え2時間に及びました。なかでも、使用されている道具をいろいろと紹介しながら、その道具に対する職人としての愛着のこもったお話に感銘を受けました。そして現在この「技」が消えようとしていることに深く憂慮されておられるように感じました。開催中440名の方が来場され、漆展は好評のうちに終了しました。次回もまた貴重な作品を見せていただけることを楽しみにしたいと思います。



# ala 映画祭を終えて

ala 映画祭は、シネコレの新しい姿を模索する中で、今年の1月頃から映画作品提供のあり方についての検討を始め、実行委員会をつくろう会で21回の企画会議を経て、実施いたしました。9月10日を初日として10月22日まで主劇場、小劇場、映像シアターを使って上映しました。市民の皆さまには楽しんでもらえたと思います。初日の「義家弘介シネマ&トーク」は、映画終了5分前に突然停電しました。急遽対策を講じ、「とにかく講演を始めよう」ということで、スタッフによる懐中電灯の薄明かりの中、ハンドマイクで、義家先生の講演がスタートしました。講演終了5分前に、電気が劇的に復活し、観客の皆さんの「ワー」という驚きの声が上がりました。先生は終了間際に観客席に降りられ、市民の皆さまに挨拶されていました。早い段階からチケットが売れた作品、徐々にチケットが売れた作品、また完売した作品もあり、観客動員数は1,961名となり、当初の計画は達成できたと思います。これからも市民の皆さまに楽しい映画、満足していただける映画を上映したいとおもいます。

義家弘介シネマ&トーク	9 / 10	412人
「シムソズ」	9 / 29	117人
「博士の愛した数式」	10 / 6	543人
「ALWAYS 三丁目の夕日」	10 / 13	502人
「あらしのよるに」	10 / 22	387人

これからも素敵な、感動的な映画を上映したい  
と思います。

ご意見どしどしお寄せください。



義家弘介さん

## クルーズコンサート経過報告

- 5月7日 第1回 クルーズコンサート実行委員会開催  
コンサートの時期、趣旨、出演者候補の選出などについて
- 5月14日 第2回 クルーズコンサート実行委員会開催  
出演者候補の選考などについて
- 5月20日 出演予定者：亀山氏のコンサートなどのビデオ鑑賞
- 5月27日 第3回 クルーズコンサート実行委員会開催  
出演者の決定、タイムスケジュール、予算の検討など
- 9月2日 第4回 クルーズコンサート実行委員会開催  
コンサートの内容の検討及び出演者への要望について協議
- 9月24日 第5回 クルーズコンサート実行委員会開催  
チラシの内容などについて協議
- 9月30日 出演者：亀山氏と打合せ（安城市のコンサート会場にて）  
チラシ素材の受け取り、コンサートの構成などについて
- 10月15日 第6回 クルーズコンサート実行委員会開催  
チラシゲラの検討など
- 10月25日 広見小学校に「詩」の募集依頼
- 11月22日 チラシ完成～配布開始
- 12月1日 コンサートチケット販売開始

皆様楽しんでいただけるようがんばります

## ザ・クラシック笑

2007年3月4日(日) 14:00 開演 前売り一般2,000円中学生以下1,000円





## NPOのための広報スキルアップセミナーに参加して

9月9日(土)岐阜県県民センターにおいて「伝えるコツを身につけよう」と題してのセミナーが開催されました。今回は、NPO広報力向上委員会発行の冊子「伝えるコツ・NPOの広報を考える15のヒント」を教材に、講師は株式会社電通コミュニケーション・デザイン・センターの角田誠氏をお迎えし、約35名が参加しました。セミナーではNPOの活動がもっと広がったり、盛り上がったりするにはどうしたら良いのだろうかをキーワードに日ごろ抱えている現状と照らし合わせながら具体的な解決策の素案を見出していきました。参加者の中からは「この様な研修は初めて受けた」との声も聞かれ、大変有意義な一日に成りました。alaクルーズ広報の一員として今後の広報活動に活かしていきたいと思います。

### !! ala 駐車場増設 !!



広くなった駐車場



### 編集後記

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。昨年は何かやり残したことはなかったでしょうか。今年は亥年。山野に住み牙を持つ豚の原種は、意外に臆病で慎重な動物です。猪突猛進といわれるように、賢い猪の勢いに乗って元気よくスタートしましょう。alaクルーズは、今年で5年目を迎えます。気を引き締めながらも楽しく活動し、参加して下さる仲間が一人でも多く増えますようにと、希望しております。(H)

### 進め! ★ alaクルーズ



alaクルーズ事務局 TEL/FAX : 0574-61-3414  
<http://www.kpac.or.jp/alacrews/>  
Mail : [alacrews@kpac.or.jp](mailto:alacrews@kpac.or.jp)